

**1** 暗闇の中にわずかな光が差し込んできました。どうやら和風建築の中のようなのです。

**2** 二人の男性が座っています。立ち上がり、柱を触り始めました。一人は視覚障害者のようです。

**3** だんだんと明るくなる室内。建物の様子がわかりました。

**4** 続いてのお客様は聴覚障害者のようです。手話で説明を受けています。

シーン  
**SCENE 3**



**みんなを感じる  
旧清水邸書院**

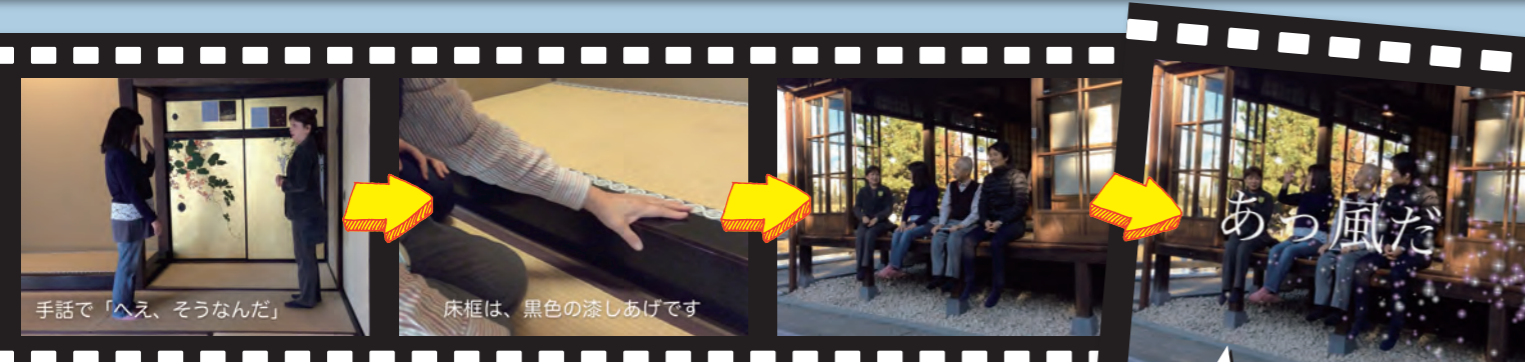


平成25年、現在地に再度移築しました

長5畳の次の間に

「今日は柱を触らせてもらって普通の家と違うことがよくわかりました」

続いてのお客様は聴覚障害のある方です



手話で「へえ、そうなんだ」

床框は、黒色の漆しあげです

あっ風だ

**5** ふすま絵の由来を手話で説明を受けている女性。

**6** 男性は床框(とこがまち)を触っています。

**7** 同じ建物を、見えない人、聞こえない人、それぞれの感じ方で楽しめたようです。

**8** 縁側に座る四人。視覚障害者と聴覚障害者もいます。そのとき気持ち良い風が吹いてきました。「あっ、風だ!」みんなで一緒に感じる事ができました。

手話通訳、柱や建具に触れること、雨戸の開け閉めは、今回の演出のために行っております。配慮が必要な方はビジターセンターにご相談ください。

小柳先生からひとこと

きれいな映像です。木の感触を楽しんでいる男性、手話で説明を受けている女性など、様々な立場の人が一つのことにみんなできさを共感している様子が描かれており良いと思います。



**見る広がり、  
触れる奥行き、  
深まる魅力。**

**この映像のポイント!**

障害がある人は、触れて楽しむ、手話で説明を受けるなどの配慮があることで、建物鑑賞をもっと味わうことができます。

暗闇から徐々に光が指す様や、手話で説明している様子の映像を見ながら、視覚障害者や聴覚障害者の気持ちに少し近づいてもらうこともねらっています。

ムービー ゴー  
**MOVIE^GO!**



暗闇から光差す和室に座っている二人。建物に触れながら鑑賞を始めました。どうやら視覚障害者のようです。手話通訳の説明にうなづく聴覚障害者。いろんな感じ方でその魅力を味わえることを知ると、もっと「旧清水邸」を楽しめるかもしれません。

そんな感覚の広がりを感じた来訪者が、最後に縁側で同時に「感じた」書院の魅力とは？